

■理事長講演 (C1)

日時：9月5日（金）12:50～13:10

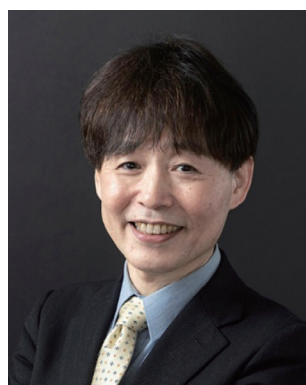
会場：A会場（会議場1階 メインホール）

座長：竹内 弘（九歯大 口腔応用薬理）

「歯科基礎医学会の現状と展望」

大島 勇人（オオシマ ハヤト）

（歯科基礎医学会理事長、新潟大 院医歯 硬組織形態）



歯科基礎医学会は1959年に創立した歴史ある学会で、解剖学、生理学、生化学、薬理学、微生物学、病理学、臨床・再生医学の異なる分野から構成されていることが大きな特徴です。異なる学問分野の研究者が同時期に同じ場所に集まる学術大会は、参加した研究者に大きな刺激を与え、研究の大きな進展や共同研究の活性化を促進してきました。歯科基礎医学会は65年以上に渡り、オーラルバイオサイエンス研究の発展に大きく貢献し、さらに、若手研究者の登竜門として、多くの人材育成の場として機能してきました。本学会の機関誌Journal of Oral Biosciencesも大きく発展しました。2024年にはIF=2.6になり、Rank by Journal Impact FactorのDentistry, Oral Surgery & Medicine分野158誌中39位となりトップジャーナルQ1（トップ25%）の仲間入りを果たしました。私たちは、将来に向けて、学会を発展させて行く使命があります。他学会や臨床分野との連携等、従来の枠組みを打破して良い未来があるというビジョンを持てるかどうか重要です。29大学歯学部・歯科大学の基礎分野が一丸となって、オーラルバイオサイエンスの発展のために必要なミッション（使命・役割・存在意義）、バリュー（価値観）、ビジョン（到達点）を考え、会員の皆様と共有したいと考えます。本講演では、歯科基礎医学会の現状と展望について述べたいと思います。

<ご略歴>

1987年 新潟大学歯学部卒業
1991年 新潟大学大学院歯学研究科修了（歯学博士）
1992年 新潟大学歯学部助手
1997年 新潟大学歯学部講師
1997年 ヘルシンキ大学留学
1998年 新潟大学歯学部助教授
2002年 新潟大学歯学部教授
歯科基礎医学会理事長、Journal of Oral Biosciences誌副編集委員長
日本解剖学会代議員、Anatomical Science International誌編集委員長
日本再生医療学会代議員、理事長補佐
日本歯科医学会評議員会副議長
新潟白菊会理事長